



- 生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために重要な時期である「架け橋期」に、子どもに関わる全ての関係者が立場を越えて連携・協働して、幼児教育や小学校教育の充実を図るとともに、家庭や地域の教育力向上へとつなげていくための一連の取組が「周南市幼保こ小の架け橋プログラム」の取組です。

幼保こ小の架け橋プログラム合同会議

- 幼保こ小の架け橋プログラム合同会議は、小学校区を基本単位として、市内公私立保育所・認定こども園・幼稚園（41 園）と小学校(27 校)で 20 合同会議を編成し、幼保こ小の架け橋期のカリキュラム作成・改善や交流活動の計画・実施に取り組んでいます。



まずは、めざす子ども像を各自が付箋にまとめました。



付箋を貼りながら発表です。「そうですね。」と頷き合う姿が度々見られました。



「ワクワク・ドキドキ」「やさしさ・寄り添う」「前向き・チャレンジ」など付箋に共通する Keyword がたくさん生まれました。

合同会議が定期的に開催されることにより、園と小学校の相互理解が深まり、子どもたちの小学校への安心感が増し、小学校生活への期待がふくらんでいます。

園と小学校の交流活動

- 合同会議で協議した計画に基づき、交流活動が実施されています。子どもたちの思い・願いや重ねてきた経験を理解した上で活動が実施されるので、子どもたちにとって楽しく、学びの多い貴重な時間となっています。

